

令和6年 9月 26日

城里町議会議員 金 長 秀 範

議員広報委員会研修報告書

研修先	「令和6年度町村議会広報研修会」 ニッショーホール
日 程	令和6年9月25日（水） 午後1時～午後4時40分
参加者	広報委員 6名、議長、事務局2名 計9名
【内 容】	
「読まれる議会広報紙の作り方」（仮題） （一社）日本経営協会講師／元小美玉市（旧美野里町）行政職員 中本 正樹氏	
「パッと伝わる議会広報紙に！やってはいけないデザイン講座」（仮題） （公社）日本広報協会広報アドバイザー／グラフィックデザイナー 平本 久美子氏	
「寄居町議会における議会だよりの作り方」（仮題） 埼玉県寄居町議会 議会広報公聴特別委員会委員長 鈴木 詠子氏	
【所感・課題等】 広報紙の目的は住民の皆様に広く伝えることではあるが、一方的な報告・告知ばかりでは読む気になれずまた関心が起きず、結果手に取ってくれず反響の無さから負のループ化。現状のようにヒアリングもなければ町民主体の広報紙には程遠く、SNSとの連動も乏しい。表紙や文字・レイアウトの変更・明確なコンセプトやターゲット層を絞る事。徹底的な戦略とマーケティングを活用し既存の役所的な広報紙の枠を超えより住民参加型の手法を取り入れる事で、あらたな若者やリピーター・ファン層獲得に繋がる。今回で広報委員研修3回目の参加です。 講師の先生によっては若干の主張の違いはありますが概ね研修内容はほぼ同じなので、成功事例を当町議会にも取り入れ新たな「議会だより」を創るためには、いかにプロ感覚・プロ意識で広報委員全員と議会事務局・印刷業者の皆様が取り組み、協力出来るかが最大の鍵。これは広報紙のみならず HP 等すべての情報発信ツール作成に言える事で、この分野が得意な人選・人材がすべてと言っても過言ではないくらい大切なポイントなので、もし本気で今までのものから大きく変えるというならば体制の再構築を含め根本的に見直す必要がある。	